



**ViCO**  
Technologies

# 2021年 3月期 2<sup>nd</sup> QTR 決算補足説明資料

ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社



2020年11月11日

証券コード:6698

**1. 2021年 3月期 2<sup>nd</sup> QTR 決算概要**

**2. 2021年 3月期 業績予想**

# 1. 2021年 3月期 2<sup>nd</sup> QTR 決算概要

## 2. 2021年 3月期 業績予想

## 営業状況・事業推進・市場開拓

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、営業活動に制限を強いられる状況が継続しているが、上期売上高に与える影響は軽微
- 次世代通信規格「5G」対応スマホ用電子部品（コネクタ、MEMS、セラミック部品含む）向けが堅調に推移
- 国内向けは前年同期比増収、中国及び東南アジア向けは堅調に推移、韓国向けは不振
- 新規市場開拓活動については、第2四半期は展示会が軒並み中止となるなど、販促活動が停滞、下期以降、プライベートショー（個別展示会）の実施を徐々に再開

## 開発投資

- 開発投資は人的投資中心に計画どおり進捗
- 次世代向け製品開発は順調に進捗
- 既存製品の新規検査アルゴリズム開発（差別化製品開発）を積極的に推進

## 人材開発

- 開発技術部門、営業部門中心に増強し、ほぼ当初計画どおりの体制に
- 新卒採用により次世代を担う若手人材を確保、人材育成に注力
- 人事制度を一新し、社員の意欲喚起、会社目標の共有化を推進

# 2021年 3月期 2<sup>nd</sup> QTR 連結決算ハイライト

- 日本国内及び中国を中心に5G関連部品向けに伸長、売上高 前年同期対比+6.7%
- 売上増加に加え、旅費交通費等の営業関連費用減少効果により増益、営業利益 前年同期対比+51.4%

(単位：百万円)

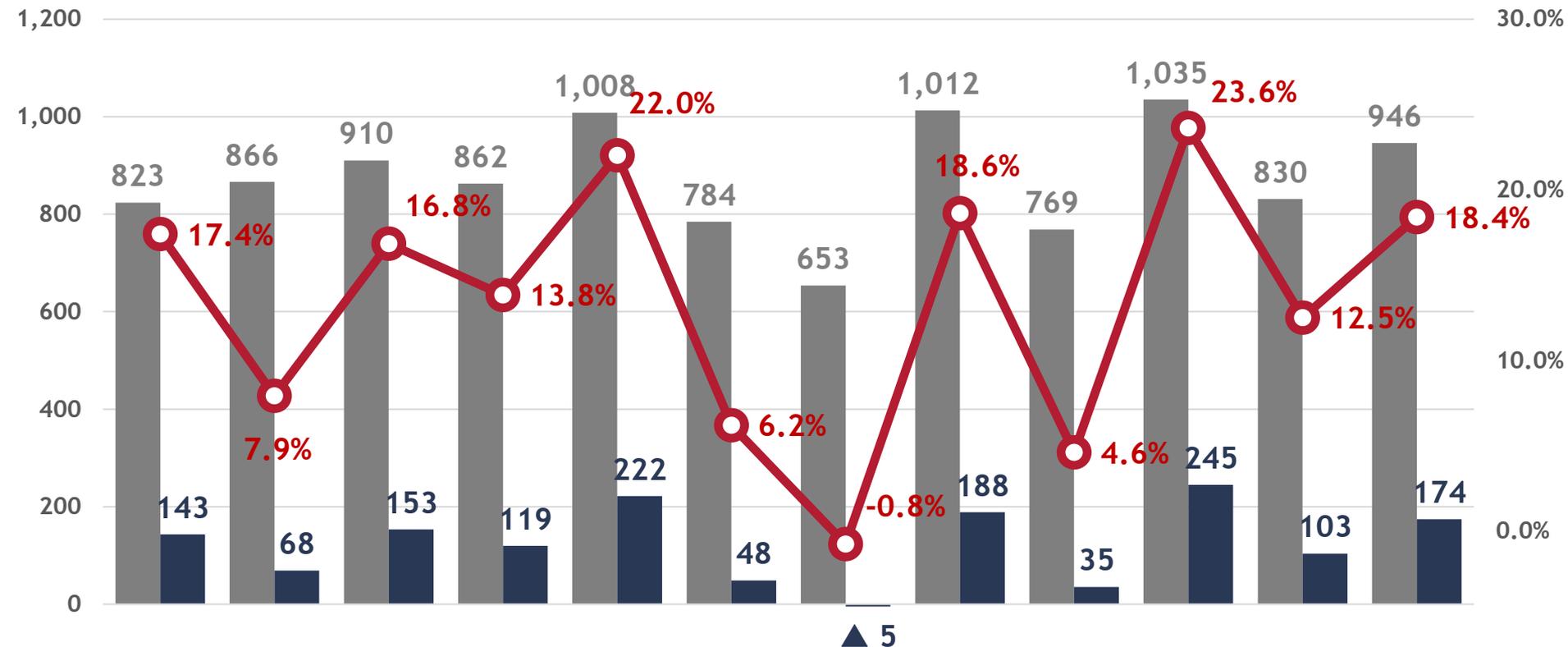
|                 | 2020年3月期<br>2 <sup>nd</sup> QTR実績 | 2021年3月期<br>2 <sup>nd</sup> QTR実績 | 前期実績<br>比較      |
|-----------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------|
| 売上高             | 1,666                             | 1,777                             | +110<br>106.7 % |
| 営業利益            | 183                               | 277                               | +94<br>151.4 %  |
| 経常利益            | 164                               | 273                               | +108<br>166.0 % |
| 親会社株主に帰属する純利益   | 120                               | 173                               | +53<br>143.9 %  |
| 1株当たり純利益 (単位：円) | 18.97                             | 27.16                             | +8.19<br>-      |

# 連結売上高・損益 四半期推移

■ 売上高 ■ 営業利益 ○ 営業利益率

(単位：百万円)

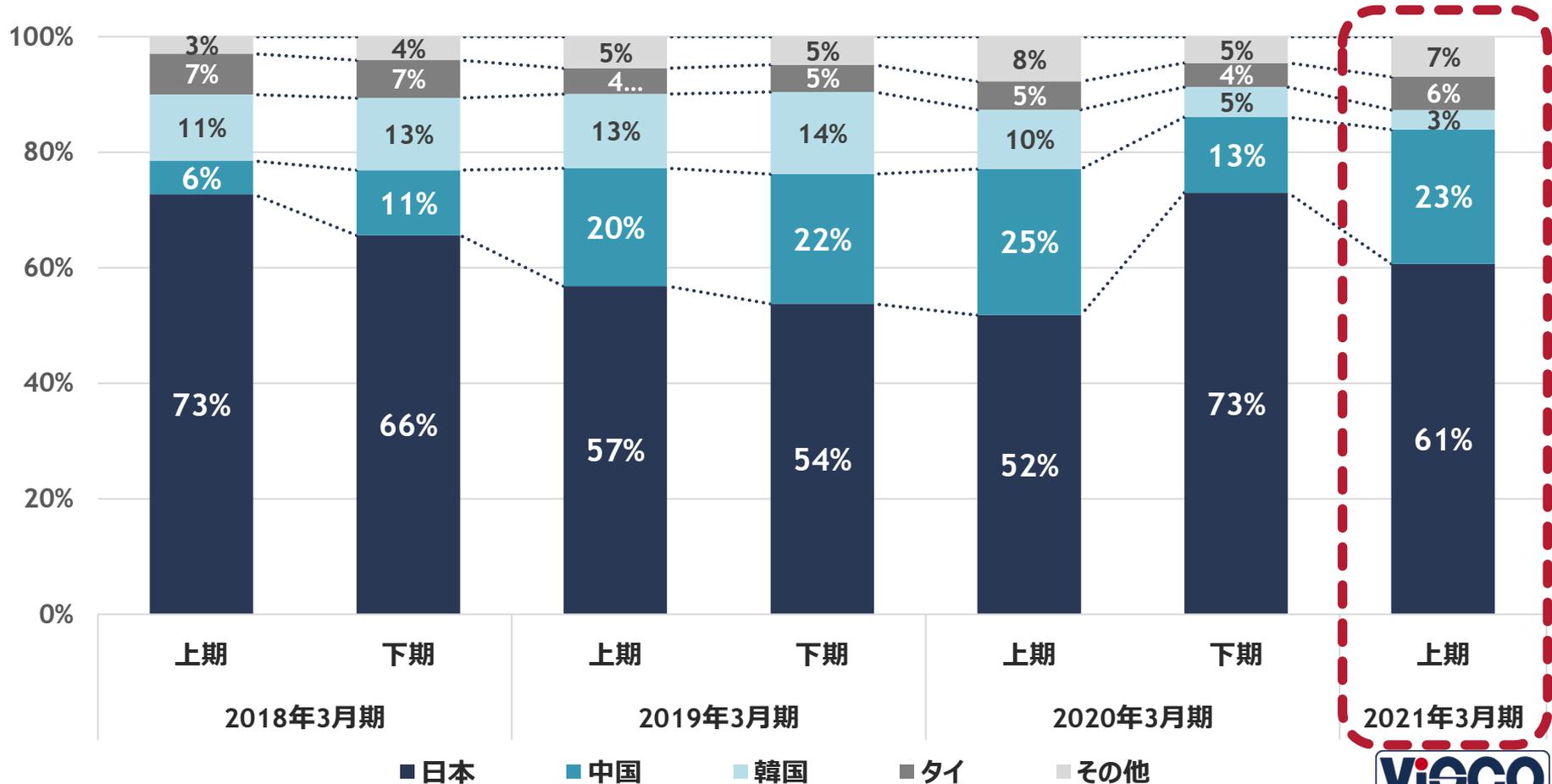
(単位：%)



| 3rd Q    | 4th Q | 1st Q | 2nd Q | 3rd Q    | 4th Q | 1st Q | 2nd Q | 3rd Q    | 4th Q | 1st Q | 2nd Q |          |  |
|----------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|----------|--|
| 2018年3月期 |       |       |       | 2019年3月期 |       |       |       | 2020年3月期 |       |       |       | 2021年3月期 |  |

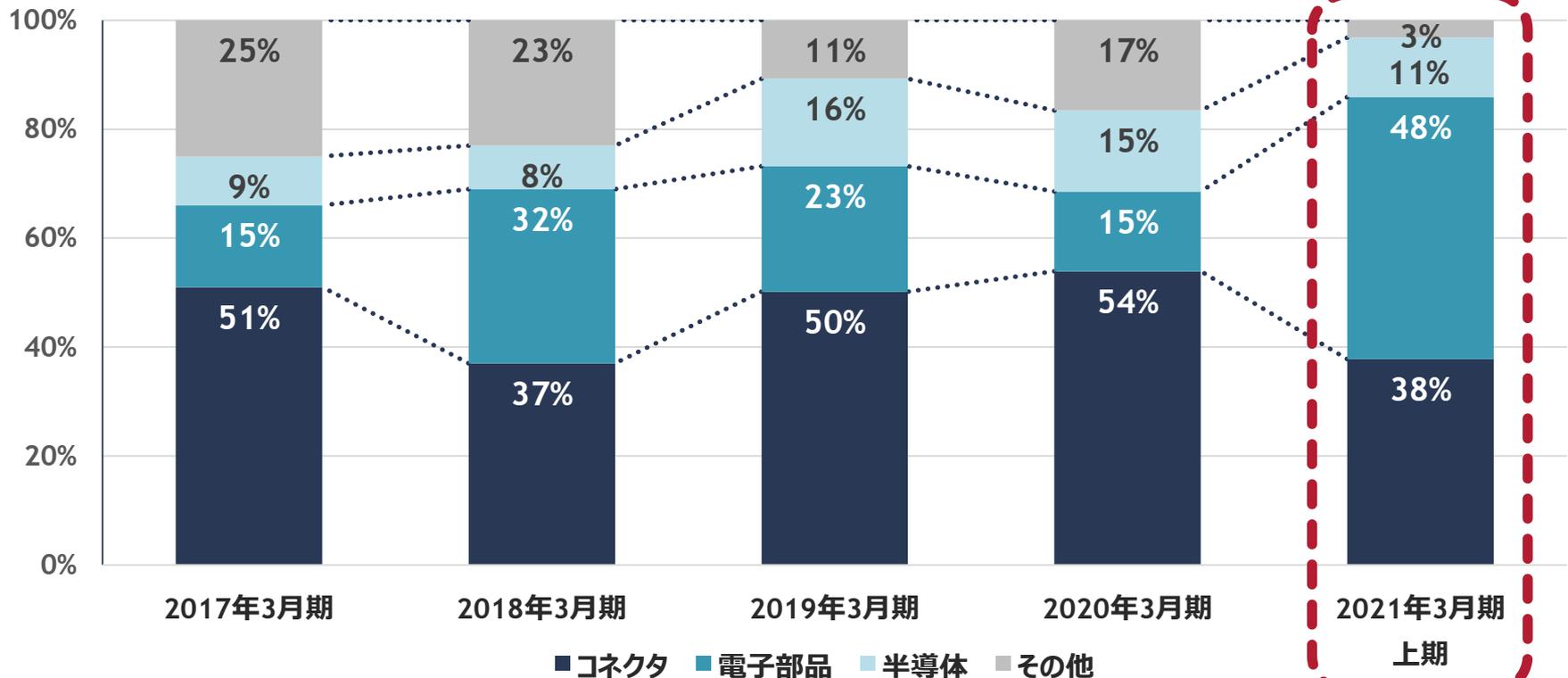
# 得意先地域別売上高推移(連結)

- 国内向けは、5G関連電子部品を中心に前年同期対比で増加
- 中国向けは、新型コロナウイルス感染拡大からの回復が想定以上に早く、好調維持
- 一方、韓国向けは昨年後半から低調が続いている



# 検査用途別売上高構成推移(連結)

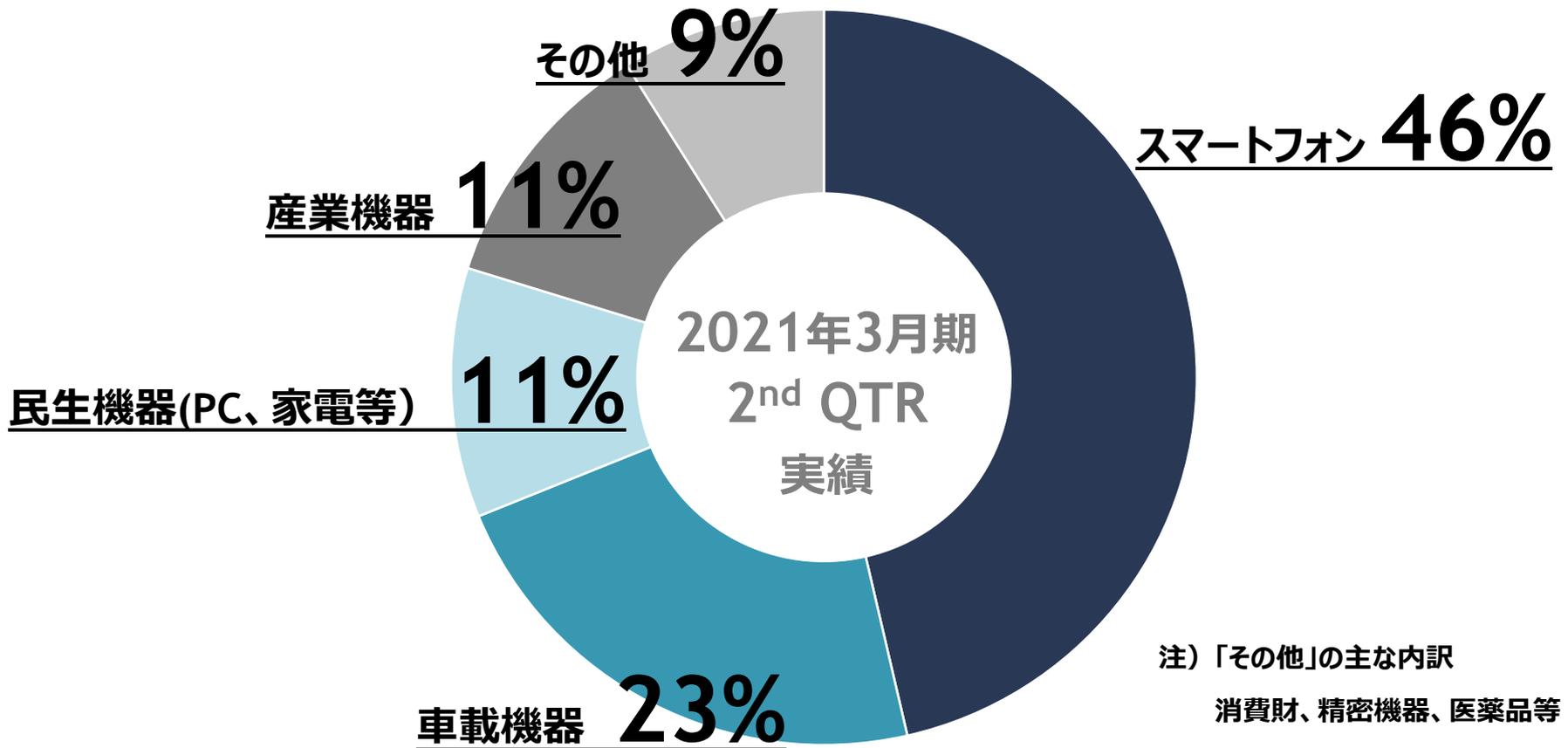
- 電子部品向けは、5G関連スマホ用のMEMS、セラミック部品、アンテナ検査用途等が伸長
- コネクタ向けは5Gスマホ関連に加えて、車載関連も堅調に推移
- 新規開拓を中心に伸ばす予定の「その他」（医薬、機械部品、素材、食品など）は、新型コロナ影響に伴う営業活動制限により減少



注) 従来「その他」の用途に含めていた内容を精査し、LED検査用など、一部電子部品領域に近いものを今期より「電子部品」にて集計しております。

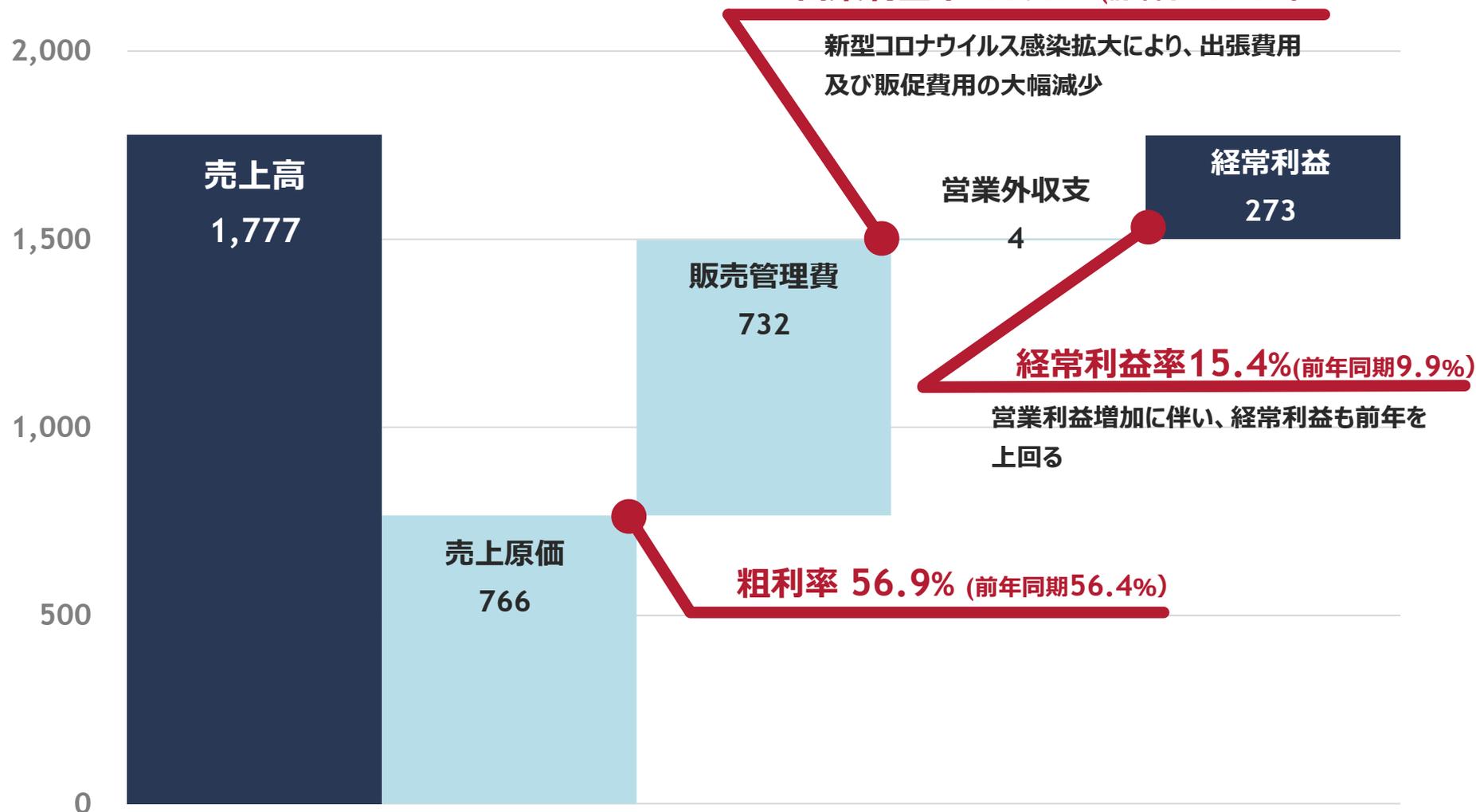
# 最終用途別売上高構成(連結)

- スマホ用は、コネクタ、電子部品を中心に当社主力用途となっている
- 車載機器は今後の成長分野として注力



# 2020年 3月期 2<sup>nd</sup> QTR 連結決算経常損益分析

(単位：百万円)



# 2021年 3月期 2<sup>nd</sup> QTR 連結貸借対照表

(単位：百万円)

前期  
2020年 3月期末

当期  
2020年 9月期末

|                           |              |                           |              |
|---------------------------|--------------|---------------------------|--------------|
| 現預金 2,004                 |              | 現預金 2,025                 |              |
|                           | 流動負債 794     |                           | 流動負債 727     |
|                           | 固定負債 346     |                           | 固定負債 352     |
| その他<br>流動資産<br>1,454      | 純資産<br>2,742 | その他<br>流動資産<br>1,497      | 純資産<br>2,869 |
| 固定資産 424                  |              | 固定資産 425                  |              |
| 総資産 3,883<br>自己資本比率 67.8% |              | 総資産 3,948<br>自己資本比率 69.6% |              |

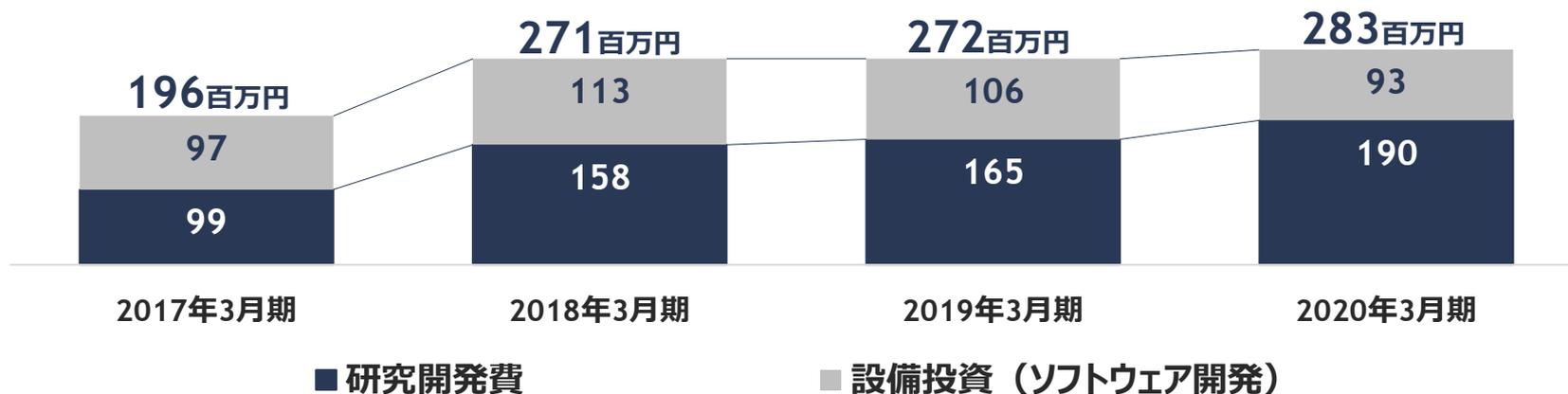
純資産  
前期末比較  
+5 %

自己資本比率  
前期末比較  
+1.8 pt

- 次世代製品の研究開発に注力
- 既存製品(VTV-9000シリーズ)の機能強化

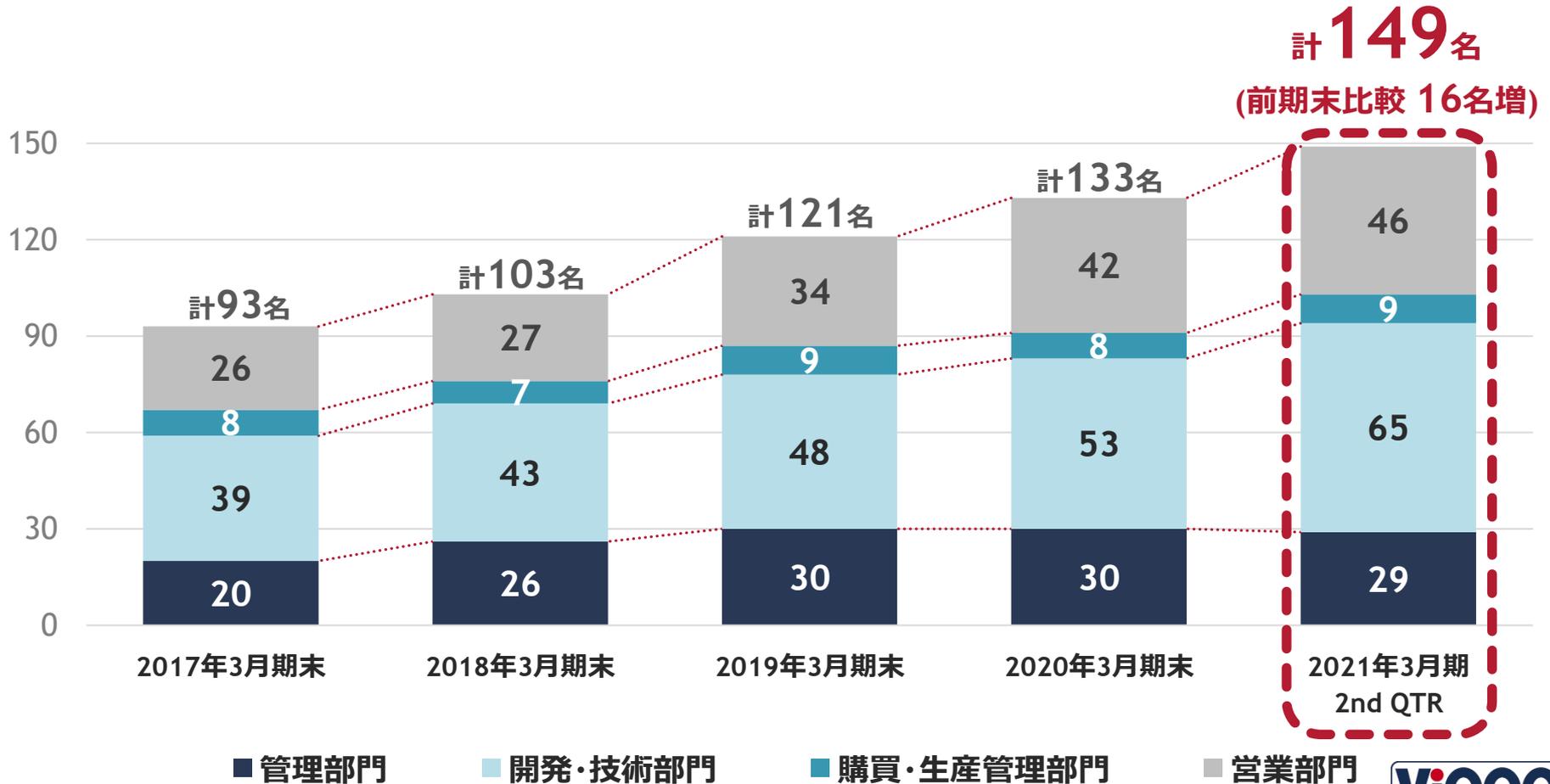
## 2021年 3月期 2<sup>nd</sup> QTR実績

| (単位：百万円)           | 1 <sup>st</sup> QTR | 2 <sup>nd</sup> QTR | 上期計 |
|--------------------|---------------------|---------------------|-----|
| 設備投資<br>(ソフトウェア開発) | 25                  | 26                  | 51  |
| 研究開発費              | 48                  | 46                  | 94  |
| 合計                 | 73                  | 72                  | 145 |



# 部門別人員推移(連結)

- 2020年4月入社 新卒採用6名 (前期比較+1名)
- 技術力・開発力の発展、営業力の強化のために人員増強し、グループ全体で150名体制に
- 2021年4月入社 新卒採用人数は当期並採用



1. 2021年 3月期 2<sup>nd</sup> QTR 決算概要

2. 2021年 3月期 業績予想

## 1. 新型コロナウイルス感染拡大への影響等の事業環境について

---

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響が、今期末までは継続するという前提で通期の業績を予想
- 会計年度後半に増加する傾向のあったスマホ用コネクタ等の季節性要因は堅めに見積もり
- 当面はITツールの活用、リモートでの商談推進による商談獲得のための体制を強化
- 展示会やプライベートショーなど、新規案件開拓に重要な広報宣伝活動は下期以降、徐々に再開予定

## 2. 事業展開

---

- 5G関連や車載用など、上期から商談が継続している案件の確実な獲得
- アフターコロナを見据えて予想される、製造ラインにおける検査工程の自動化ニーズ増加に対応するための製品開発、営業アプローチ体制の強化
- 次世代製品を中心に開発スピードをアップ

## 3. 開発投資

---

- 高速検査を可能とする従来比10倍以上（当社比）の高輝度LED証明の開発
- AIエンジンと当社製品とのプロトタイプ運用の開始
- 新型コロナウイルス感染拡大の状況下でニーズが高まるとされるリモートコントロールシステム（自動検査監視機能）の開発

## 4. 人材開発

---

- 新卒は開発・技術職中心に採用継続（数名）、2022年春採用に向けて活動開始
- 若手人材の育成のための研修制度、OJTプログラムの一層の充実

# 2021年 3月期 業績予想(連結)

- 通期連結売上高は前年並を予想
- 国内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が会計年度末まで継続することを想定
- 電子部品向けを中心に中国の業績は堅調に推移
- 経費の削減を進める一方、研究開発投資は当初計画通り投資を継続
- 中国子会社について、業績好調により税務上の繰り越し欠損金が解消されたことに伴い、税金費用が増加

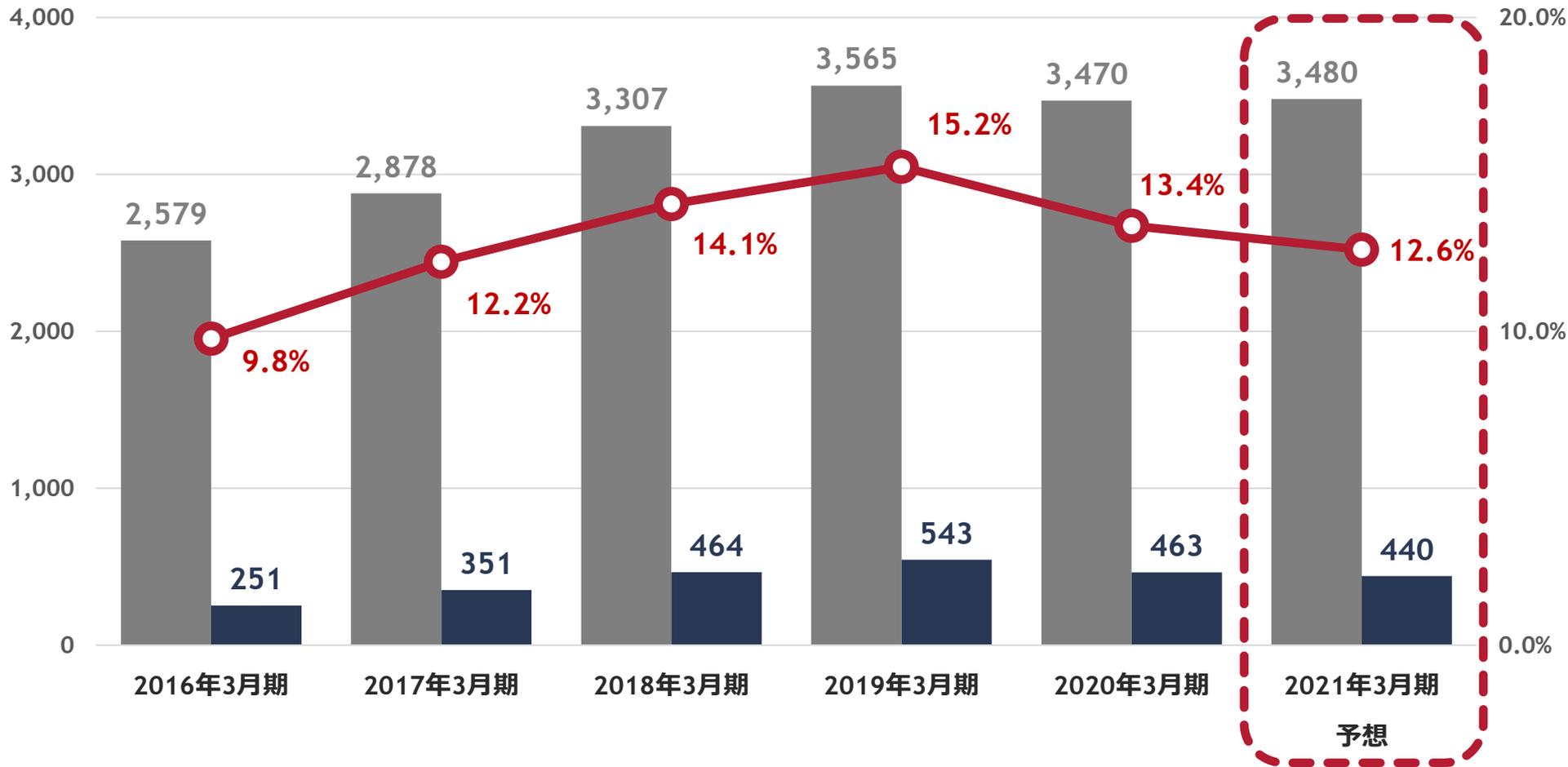
| (単位：百万円)              | 2020年3月期<br>実績 | 2021年3月期<br>予想 | 増減額     | 増減率   |
|-----------------------|----------------|----------------|---------|-------|
| 売上高                   | 3,470          | 3,480          | + 9     | 100 % |
| 営業利益                  | 463            | 440            | △ 23    | 95 %  |
| 経常利益                  | 425            | 430            | + 4     | 101 % |
| 親会社株主に帰属する当期純利益       | 304            | 250            | △ 54    | 82 %  |
| 一株当たり当期純利益 (単位：円) (注) | 47.64          | 39.02          | △ 8.62  | -     |
| 自己資本利益率 (ROE)         | 12.2 %         | 9.3 %          | △ 2.9pt | -     |

# 連結売上高・損益 推移(予想)

■ 売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率

(単位：百万円)

(単位：%)



## 2021年3月期 期末配当予想 **6円25銭** (2020年3月期末配当実績 6円25銭)

### 配当の基本方針

当社は、今後の事業展開の拡大及び経営基盤の確立のための内部留保の充実を勘案しながら、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、安定的に配当を実施していくことを基本方針としております。

また、「究極の画像処理検査装置」開発に向けた開発投資も重要施策の一つでもありますため、当社はこの二つのバランスを考えつつ、適宜、最適な配当還元を行ってまいります。

## 東京証券取引所市場第一部への変更について

当社は、2020年2月10日付「市場変更申請の延期に関するお知らせ」において、今期以降での適切なタイミングで市場変更申請を行う旨を公表しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大による景気の大規模減速の影響により、当社業績動向の不透明感が増大したことで、現時点では市場変更申請に至っておりません。

このような状況の中、2020年11月1日に、上場制度の見直しに係る有価証券上場規程等の一部改正が施行され、市場第一部銘柄への指定に係る基準等の見直しが行われました。

当社は、現時点で見直し後の形式基準を充足する要件を満たしておりませんので、市場第一部への市場変更申請は当面行わない予定です。

しかしながら、引き続き上位市場を目指す方針に変更はなく、新市場区分である「プライム市場（仮称）」への株式上場を目指し、これまでの経営方針を継続しながら、企業価値向上のための施策を積極的に検討し、実行してまいります。

# Appendix

---

## 会社概要

## 画像処理検査といえば “ ViSCO ”

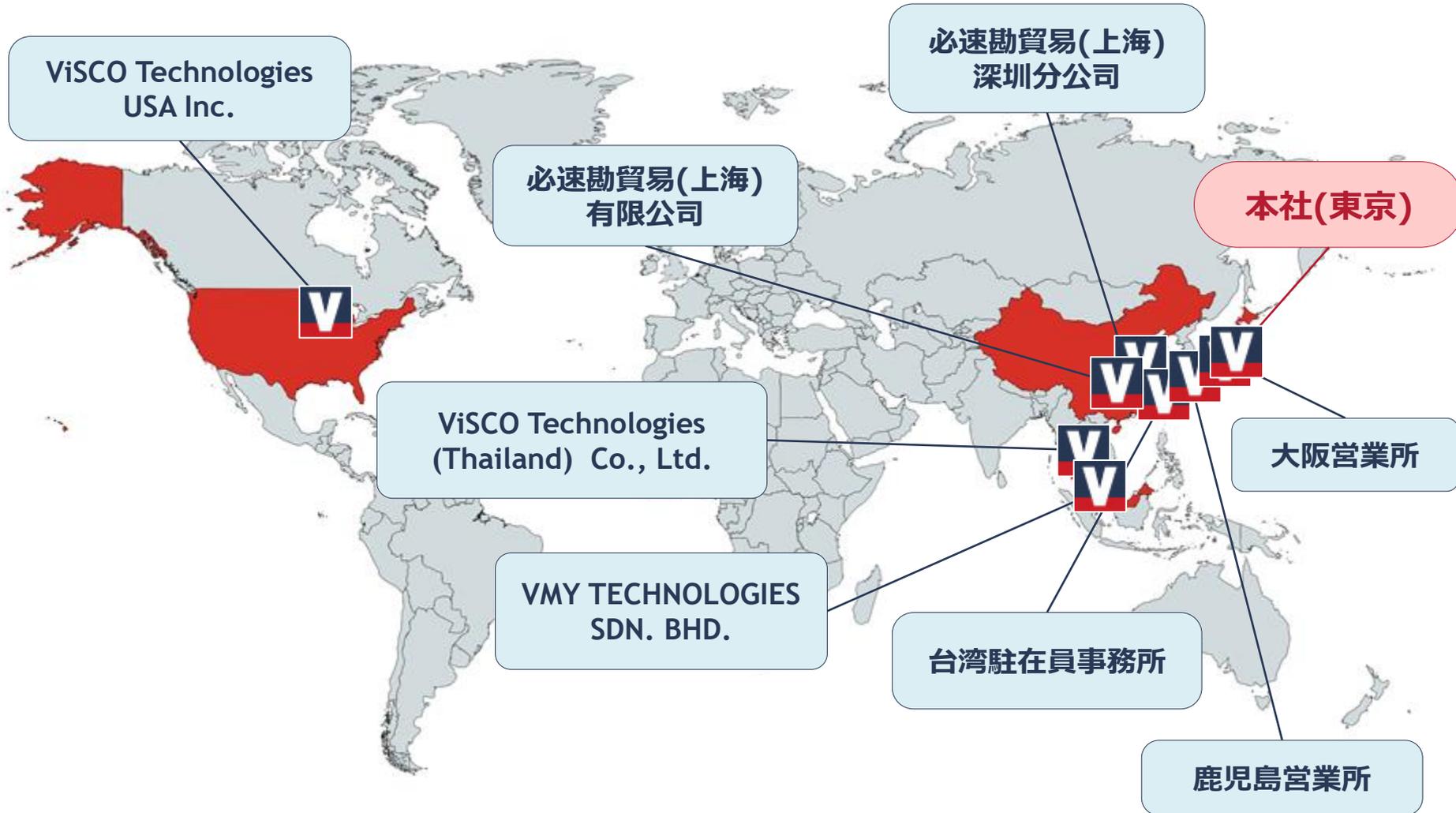
画像処理技術を広めることにより  
豊かな社会づくりに貢献する

画像-筋

“究極の画像処理システム”  
を追及する

顧客満足度の高い画像ビジネスの  
トータル・ソリューションを創造し、  
画像処理システムクリエイターとなる

|         |   |
|---------|---|
| 会社名     | ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社                                |
| 代表取締役社長 | 足立 秀之   |
| 本社所在地   | 東京都港区海岸1丁目11番1号ニューピア竹芝ノースタワー                    |
| 設立      | 2003年8月   |
| 資本金     | 490百万円（2021年 9月現在）                              |
| 国内事業拠点  | 大阪、鹿児島  |
| 海外事業拠点  | 中国（上海、深圳）、タイ（バンコク）、米国（イリノイ州）、マレーシア（ペナン州）、台湾（台北） |
| 従業員数    | 149名（2021年 9月末現在）                               |
| 事業内容    | 画像処理検査装置の開発、製造、販売                               |
| 証券コード   | 東京証券取引所市場第二部 （6698）                             |



2003年 8月



ViSCO Technologies 株式会社 設立

私たちは、画像一筋です。

2008年 3月

筐体型画像処理検査装置VTV-9000 シリーズ発売



2010年 3月



必速勘貿易(上海)有限公司 設立

2012年 2月



ViSCO Technologies (Thailand)Co., Ltd. 設立

2014年 3月



ViSCO Technologies USA, Inc. 設立

2017年 12月

東京証券取引所 JAQSDAQ (スタンダード) 市場 株式上場

2018年 12月

東京証券取引所 市場第二部 上場市場変更

2019年 10月



VMY TECHNOLOGIES SDN. BHD. 設立

# IR に関するお問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、  
管理本部 IR担当までお願い申し上げます。

**Tel : 03-6402-4500**

**Mail : info-ir@visco-tech.com**

本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。

私たちは、画像一筋です。